

次の100年も・・・ここに商工会!!

●第129回(平成23年度第2回)●

中小企業景況調査報告書

栃木県商工会地区

平成23年 7月～ 9月・報告

平成23年10月～12月・予想



次の100年も
・・・ここに商工会

栃木県商工会連合会

目 次	頁
1. 栃木県産業全体の景況概要	3
栃木県と全国の業況D I 推移を比較 ・ 図 1	
県内産業別の業況D I 推移を比較 ・ ・ 図 2	
2. 製造業の景況	4
主要景況項目の推移	・・・ 図 3
売上額(加工高)の状況	・・・ 図 4
採算(経常利益)の状況	・・・ 図 5
設備投資の状況	・・・ 図 6
経営上の問題点の状況	・・・ 図 7
3. 建設業の景況	7
主要景況項目の推移	・・・ 図 8
売上額(完成工事高)の状況	・・・ 図 9
採算(経常利益)の状況	・・・ 図10
設備投資の状況	・・・ 図11
経営上の問題点の状況	・・・ 図12
4. 小売業の景況	10
主要景況項目の推移	・・・ 図13
売上額の状況	・・・ 図14
採算(経常利益)の状況	・・・ 図15
設備投資の状況	・・・ 図16
経営上の問題点の状況	・・・ 図17
5. サービス業の景況	13
主要景況項目の推移	・・・ 図18
売上額(収入高)の状況	・・・ 図19
採算(経常利益)の状況	・・・ 図20
設備投資の状況	・・・ 図21
経営上の問題点の状況	・・・ 図22
6. 調査対象事業所の内容	16

○D I 指数とは

本文中やグラフ中に登場するD I 値とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合 から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

例えば、売上額で増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%の場合、D I 指数は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを表している。

〔 調 査 要 領 〕

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置して、地域の産業の状況等地域の経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を収集、提供して、経営改善普及事業の実施に資するものとする。

本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の業種を、主要景況項目（売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り）から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区

栃木県下の10商工会地区

栗野・にのみや・益子町・市貝町・石橋・桑絹
藤岡町・塩谷町・喜連川・那須塩原市

○調査対象

対象企業数：上記商工会地区の150企業（1商工会15企業）

回答企業数：150企業（回答率100.0%）

○調査時点

平成23年 9月 1日

○調査対象期間

平成23年7月～9月期の実績及び、平成23年10月～12月期の見通しについて調査。

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査。

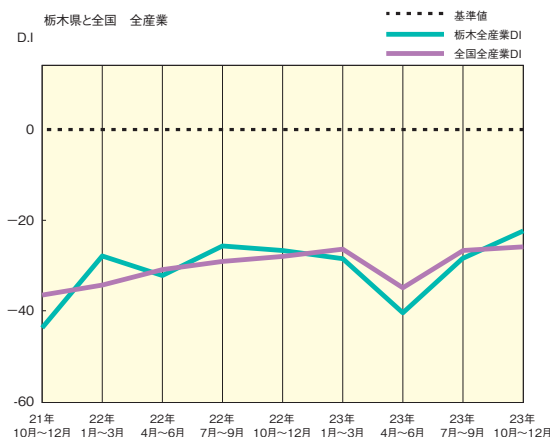
○回答企業数内訳

産 業	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	30	20.0
建 設 業	23	15.3
小 売 業	40	26.7
サ ー ビ ス 業	57	38.0
合 計	150	100.0

1. 栃木県産業全体の景況概要

〈栃木県と全国の業況D I 推移を比較〉

「中小企業の業況に改善感が見られる」（前期比） 図 1



今期の中小企業の業況は、「東日本大震災」の影響が一段落し、改善の動きが見られる。しかし、歴史的な円高の影響など、今後への不安材料は存在し、予断を許さない状況である。

なお、栃木県内の業況D I は、-28.4ポイントと前期(-40.3ポイント) と比べ+11.9ポイント上昇した。

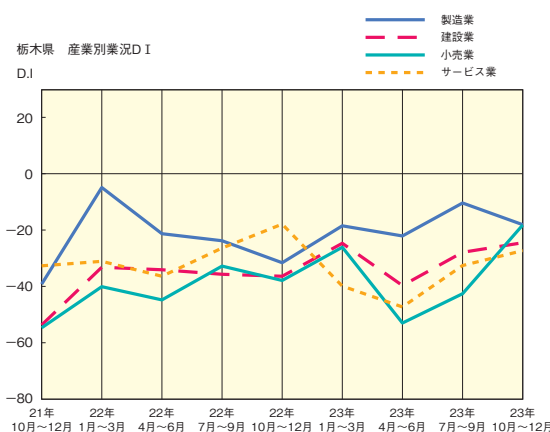
来期の見通し(10月~12月)では、全国業況および栃木県業況ともに、D I 値は改善を予想している。

※全国業況D I は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表するニュースリリースから、栃木県業況D I は、商工会議所・中小企業団体中央会が実施する中小企業景況調査を含めた値を利用してグラフ化した。

それぞれ調査時点は同日である。

〈県内産業別の業況D I 推移を比較〉

「全業種で持ち直し」（前年同期比） 図 2



前期のD I 値と比べ、「製造業」で+11.7ポイント(-22.1ポイント→-10.4ポイント)、「建設業」で+11.8ポイント(-39.7ポイント→-27.9ポイント)上昇した。

また、「小売業」「サービス業」では、D I 値自体は弱いものの、「小売業」では、前期と比べ+10.4ポイント(-53.0ポイント→-42.6ポイント)、「サービス業」では、+14.7ポイント(-47.3ポイント→-32.6ポイント)上昇している。

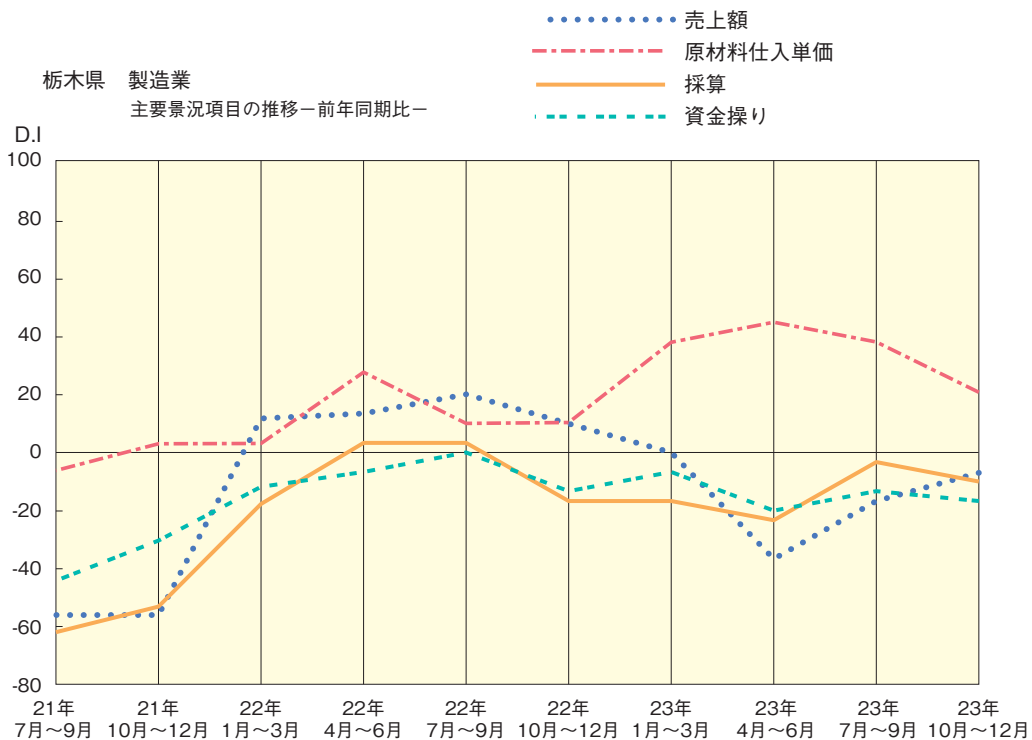
来期の見通しでは、全業種で引き続きD I 値の上昇を予想している。

2. 製造業の景況

—主要景況項目の推移—

「売上と採算に改善傾向うかがえる」

製造業 主要項目の推移（前年同期比） 図3



「売上額(加工高)」は、D I 値が+19.9ポイント(-36.6ポイント→-16.7ポイント)上昇した。また、「原材料仕入単価」は、-6.8ポイント(44.8ポイント→38.0ポイント)低下した。一方、「採算(経常利益)」は、+20.9ポイント(-24.2ポイント→-3.3ポイント)と改善傾向を示している。

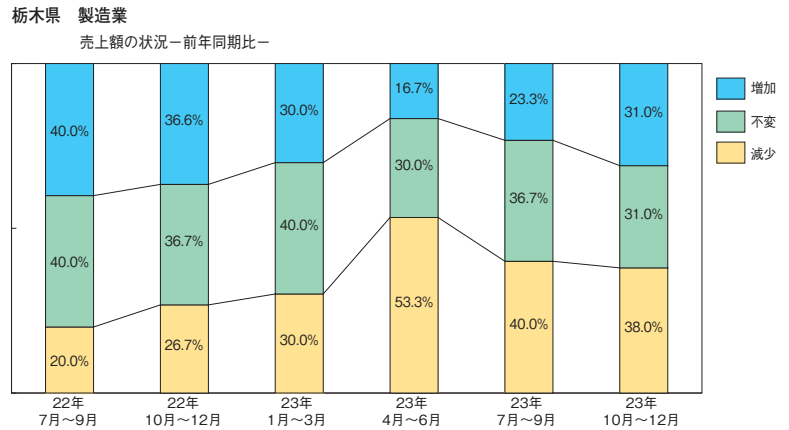
来期の見通しでは、「売上額(加工高)」は増加するが、「採算(経常利益)」はやや悪化を予想している。

－売上額(加工高)－

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が40.0%、増加企業が23.3%で、D I 値は前期と比べ、+19.9ポイント上昇した。(−36.6ポイント→−16.7ポイント)

来期の見通しは、売上減少と予想する企業がやや減り(40.0%→38.0%)、また、売上増加と予想する企業は増加(23.3%→31.0%)していることから、改善傾向を維持すると予想している。

売上額(加工高)の状況(前年同期比) 図4

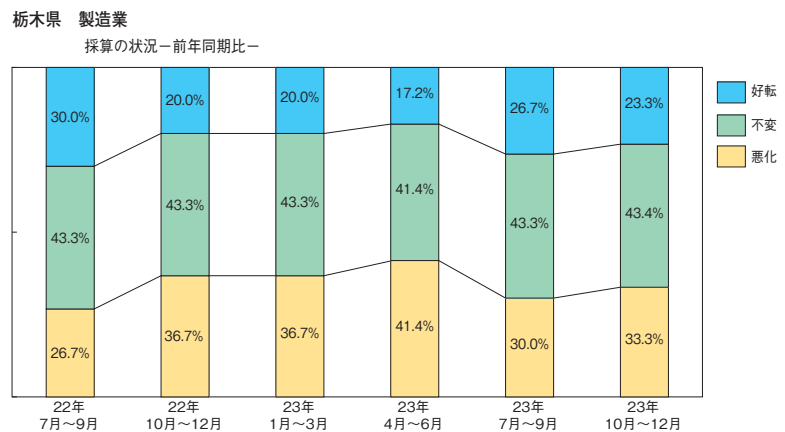


－採算(経常利益)－

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が30.0%、好転企業が26.7%で、D I 値は前期より+20.9ポイント上昇した。(−24.2ポイント→−3.3ポイント)

来期の見通しは、悪化企業が33.3%、好転企業が23.3%で、D I 値−10.0ポイントと、やや悪化を予想している。

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図5

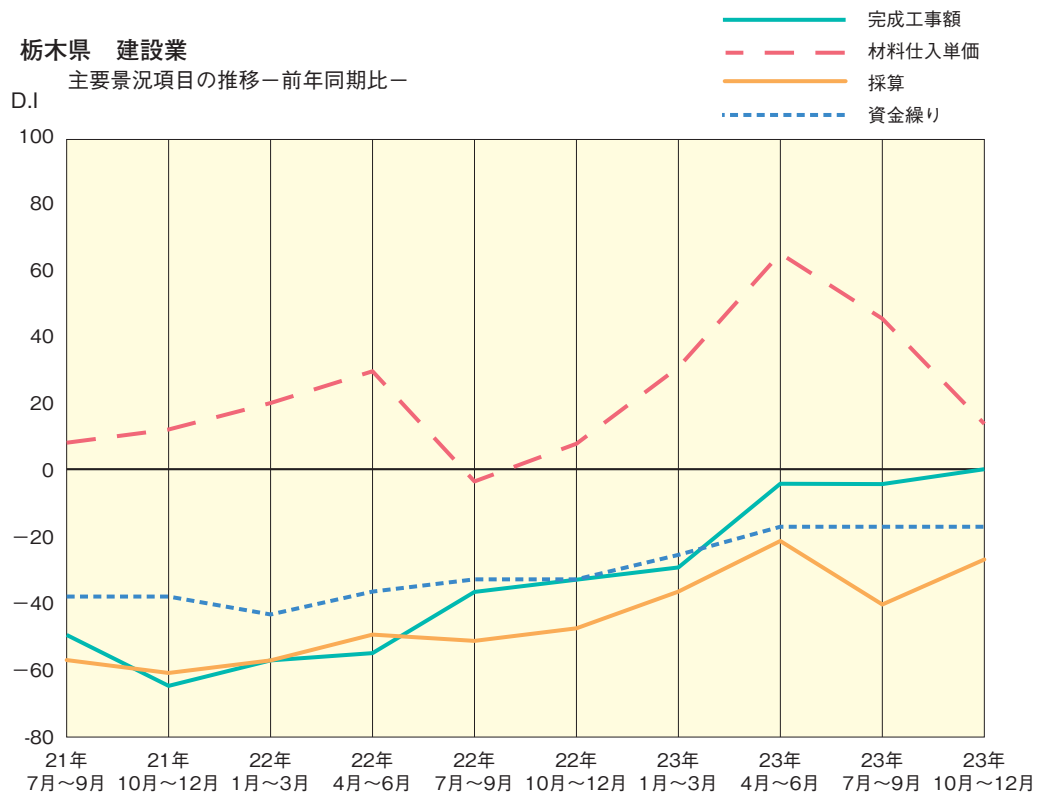


3. 建設業の景況

—主要景況項目の推移—

「売上額(完成工事額)を維持するものの、採算が悪化傾向」

建設業 主要項目の推移(前年同期比) 図8



「売上額(完成工事額)」は前期比-0.1ポイント(-4.4ポイント→-4.5ポイント)と、前期に比べ大きな変化は見られなかった。一方、「材料仕入単価」が前期比-19.7ポイント(65.2ポイント→45.5ポイント)低下しているものの、「採算(経常利益)」については、前期比-19.2ポイント(-21.7ポイント→-40.9ポイント)と悪化した。

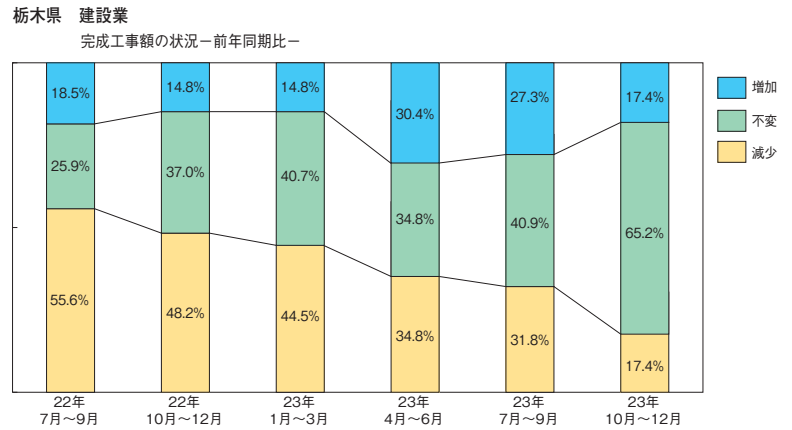
来期の見通しのD I値では、「材料の仕入単価」がさらに低下して、「採算(経常利益)」が好転し、「売上額(完成工事額)」は、やや上昇すると予想している。

—売上額(完成工事高)—

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が31.8%、増加企業が27.3%で、D I 値は-4.5ポイントと、前期とあまり変化はなかった。

来期の見通しは、売上減少と増加を予想する企業の割合が低下し、不変を予想する企業が65.2%と増加することかすら、今期を維持する見通しである。

売上額(完成工事高)の状況(前年同期比) 図9

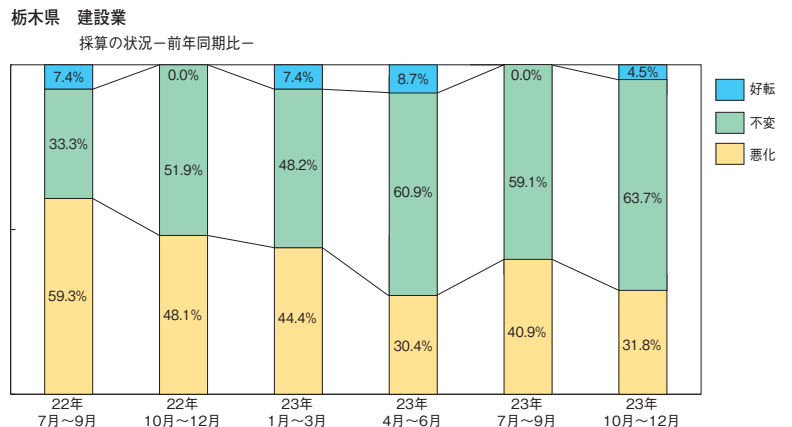


—採算(経常利益)—

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が40.9%、好転企業が0.0%で、D I 値は-40.9ポイントと、前期と比べ19.2ポイント低下した。

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業が減少し(40.9%→31.8%)、好転を予想する企業が増加する(0.0%→4.5%)ことから、D I 値は、前期比+13.6ポイントと改善を予想している。

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図10

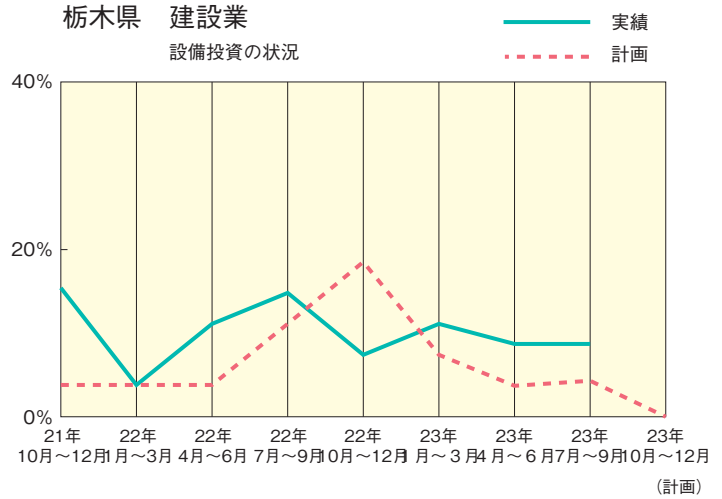


一設備投資の状況一

設備投資の状況 図11

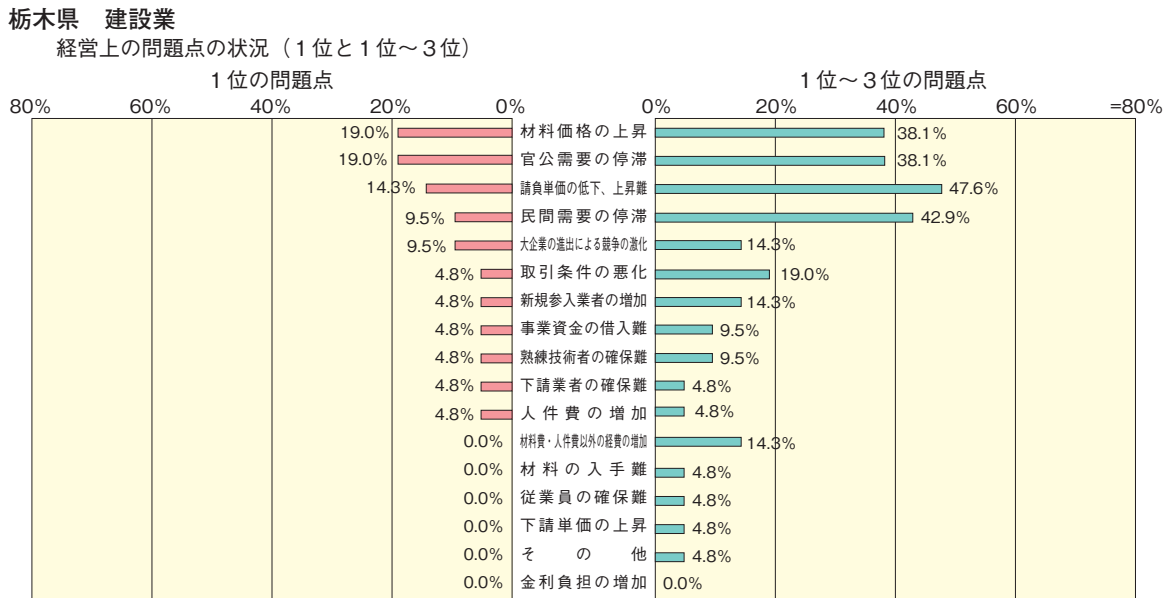
今期の設備投資の状況は、計画していた企業が4.3%、実績は8.7%で、3期連続して計画を上回った。

来期に設備投資を計画している企業は、0.0%である。



一経営上の問題点一

経営上の問題点の状況 図12



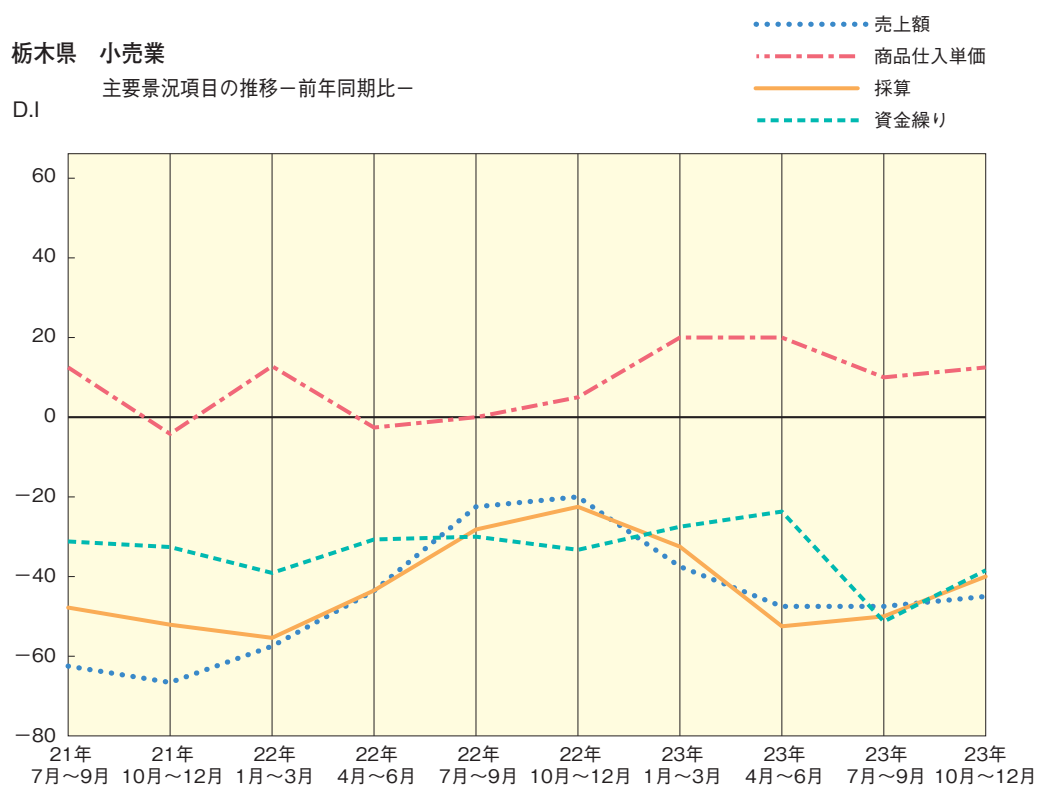
1位の問題点では、「材料価格の上昇」、「官公需要の停滞」が多く、1位～3位の問題点としては、「請負単価の低下、上昇難」、「民間需要の停滞」が上位に挙げられた。

4. 小売業の景況

—主要景況項目の推移—

「売上を維持するも、資金繰りが悪化」

小売業 主要項目の推移（前年同期比） 図13



「売上額」は前期同様(-47.5ポイント→-47.5ポイント)と変化なく、「採算(経常利益)」は+2.5ポイント(-52.5ポイント→-50.0ポイント)上昇した。一方、「資金繰り」は、前期と比べ-27.6ポイント(-23.7ポイント→-51.3ポイント)と大幅に低下し、資金繰りの悪化がうかがえる。

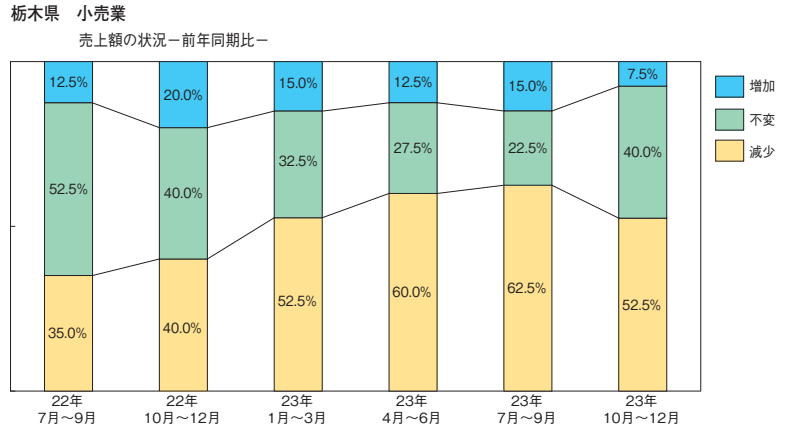
来期の見通し(DI値)では、「売上額」は、今期を維持すると予想しているが、「資金繰り」は改善を予想している。

－売上額－

売上額の状況（前年同期比）図14

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が62.5%、増加企業が15.0%、D I 値は-47.5ポイントで、前期と同じ傾向を示した。

来期の見通しは、売上減少を予想する割合は減るが(62.5%→52.5%)、売上増加を予想する割合も減り(15.0%→7.5%)、また、不変とする企業が(22.5%→40.0%)と増えることから、D I 値は-45.0ポイントと、今期を維持すると予想している。

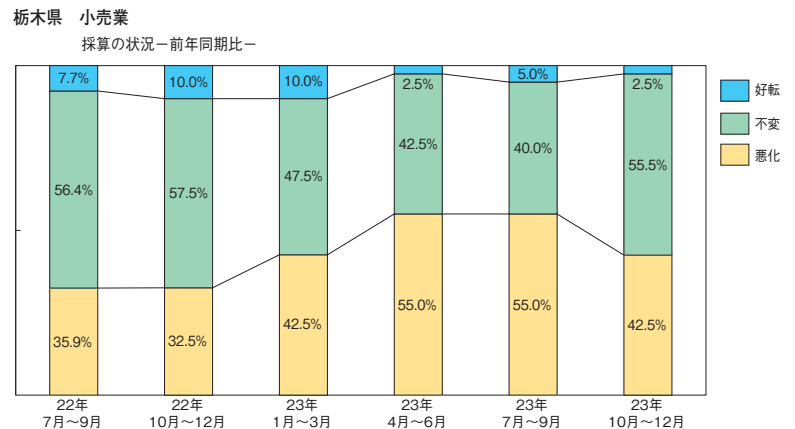


採算（経常利益）の状況（前年同期比）図15

－採算（経常利益）－

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が55.0%、好転企業が5.0%で、D I 値は-50.0ポイントと、前期D I 値の-52.5ポイントと同水準値を示した。

来期の見通しは、悪化を予想する企業が減少(55.0%→42.5%)、D I 値は-40.0ポイントと上昇し、改善すると予想している。

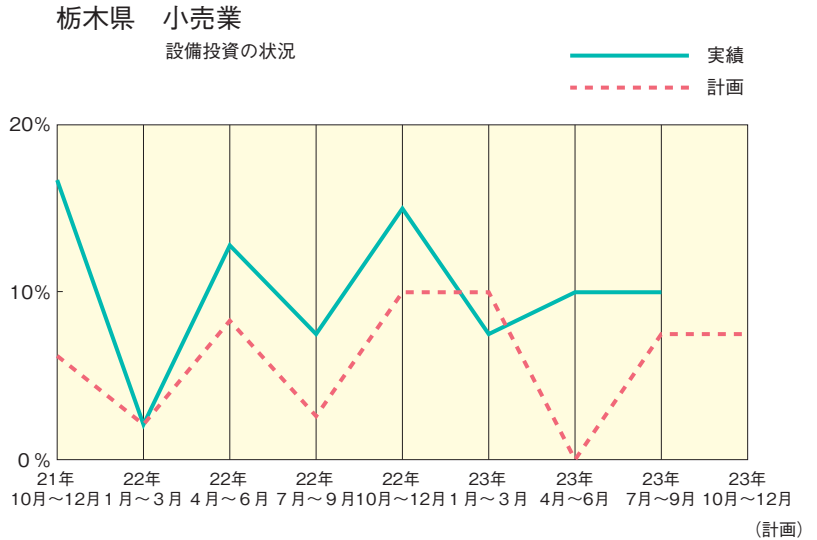


一設備投資の状況一

設備投資の状況 図16

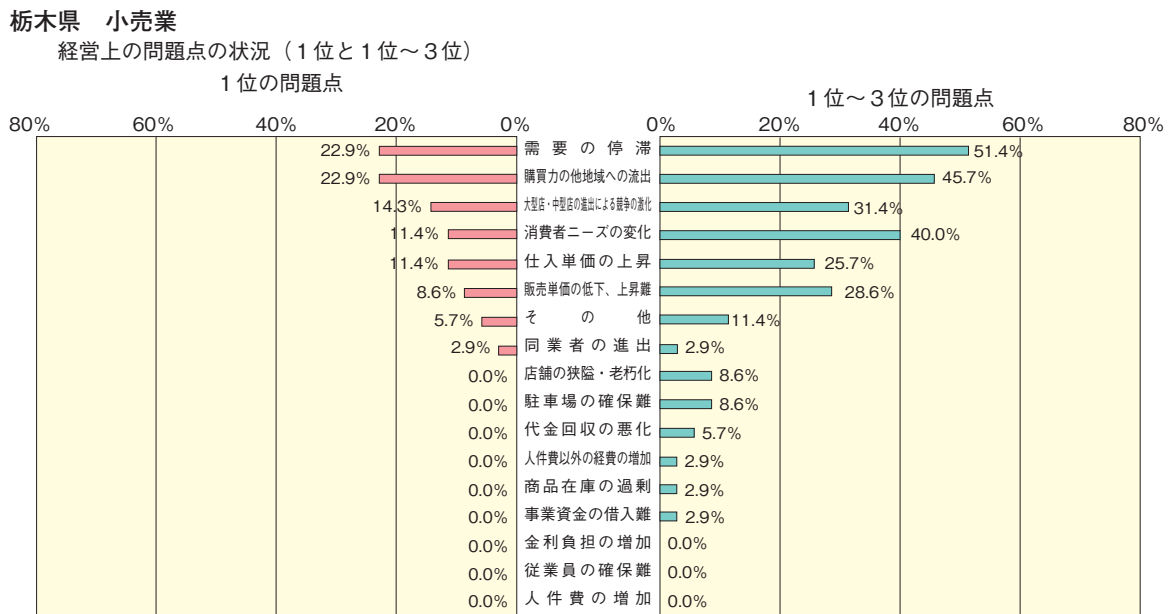
今期の設備投資は、計画していた企業割合7.5%に対し、実施割合は10.0%であった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期と同様の7.5%である。



一経営上の問題点一

経営上の問題点の状況 図17



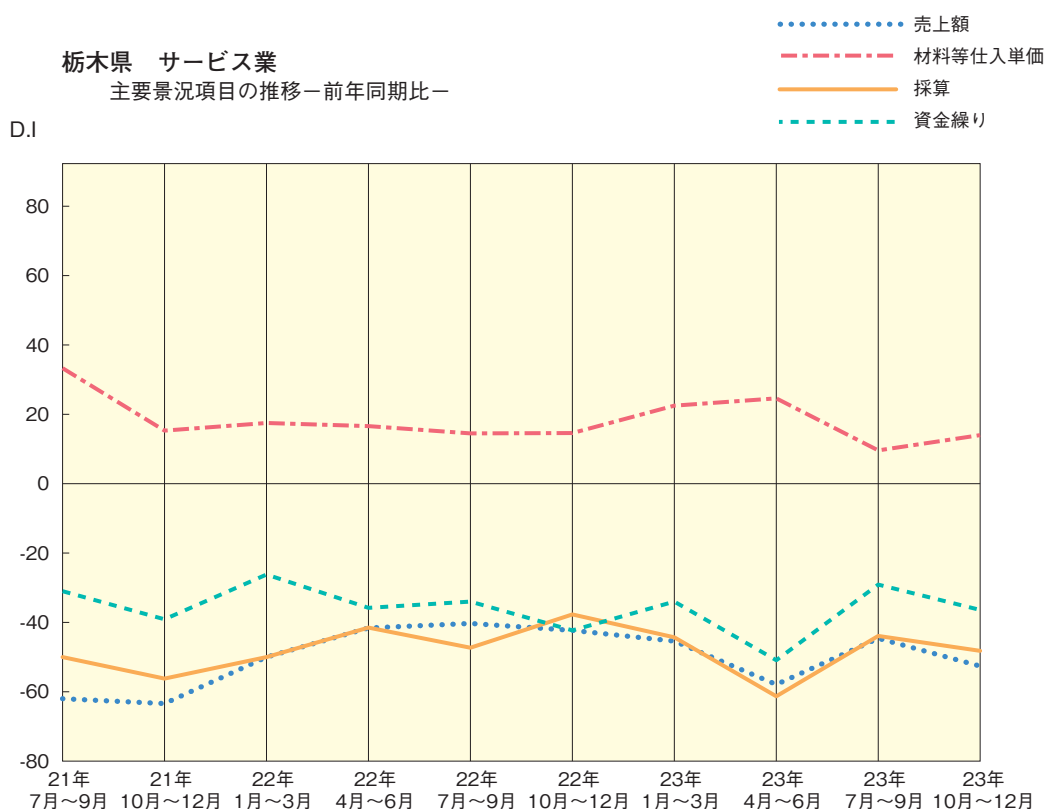
1位の問題点を見ると、「需要の停滞」、「購買力の他地域への流出」がトップに挙げられ、それぞれ22.9%を占めている。また、1位～3位の問題点を見ても、「需要の停滞」がトップで51.4%を占めている。

5. サービス業の景況

－主要景況項目の推移－

「やや改善の兆しがうかがえる」

サービス業 主要項目の推移（前年同期比） 図18



「売上額」は、前期D I 値と比べ+13.3ポイント(-57.9ポイント→-44.6ポイント)上昇し、「採算」も前期と比べ+17.4ポイント(-61.3ポイント→-43.9ポイント)改善した。また、「資金繰り」は、前期比+21.8ポイント(-50.9ポイント→-29.1ポイント)と上昇したことから、改善感がうかがえる。

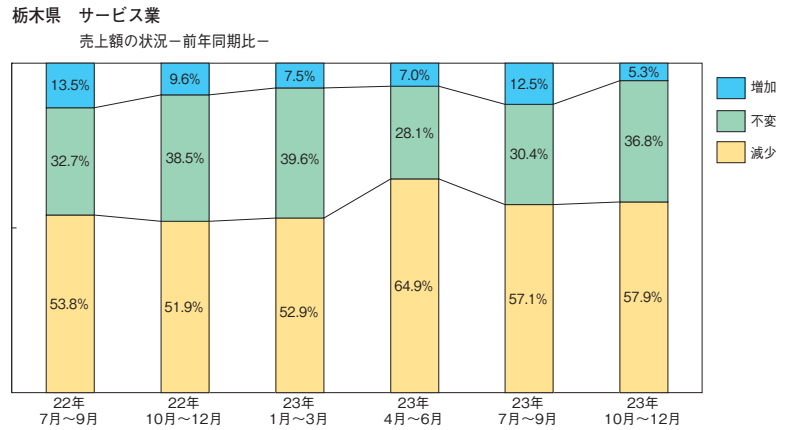
来期の見通しでは、「売上額」のD I 値が-52.6ポイントを示していることから、やや悪化すると予想している。

—売上額(収入高)—

売上額(収入高)の状況(前年同期比) 図19

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が57.1%、増加企業が12.5%で、D I 値は-44.6ポイントと、前期(-57.9ポイント)と比べ+13.3ポイント改善した。

来期の見通しは、売上増加と予想する企業が57.9%、減少を予想する企業が5.3%、D I 値が-52.6ポイントと、今期よりやや悪化すると見ている。

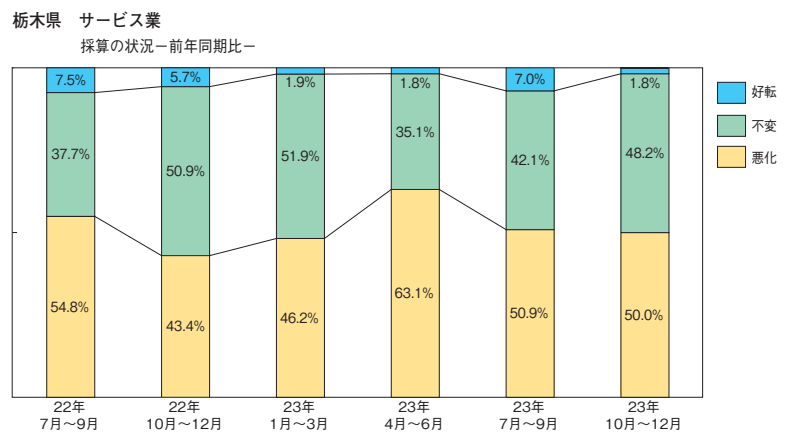


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図20

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が50.9%、好転企業が7.0%で、D I 値は-43.9ポイントと、前期より+17.4ポイント改善した。

来期の見通しは、悪化を予想する企業50.0%、好転を予想する企業が1.8%で、D I 値が-48.2ポイントと今期より若干悪化すると予想している。

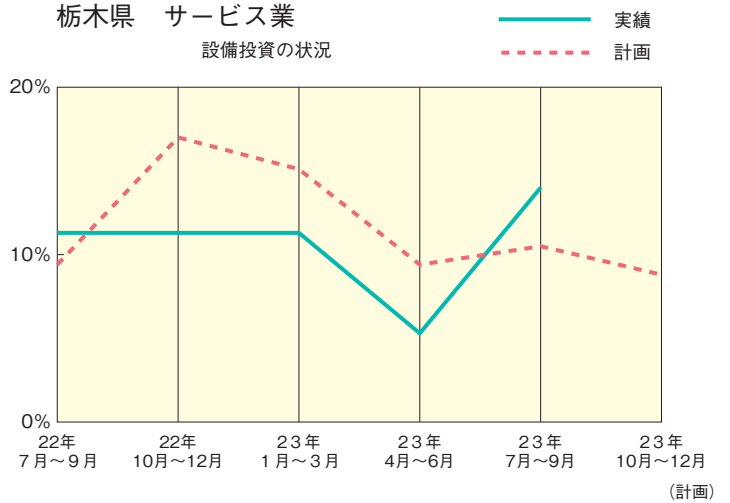


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図21

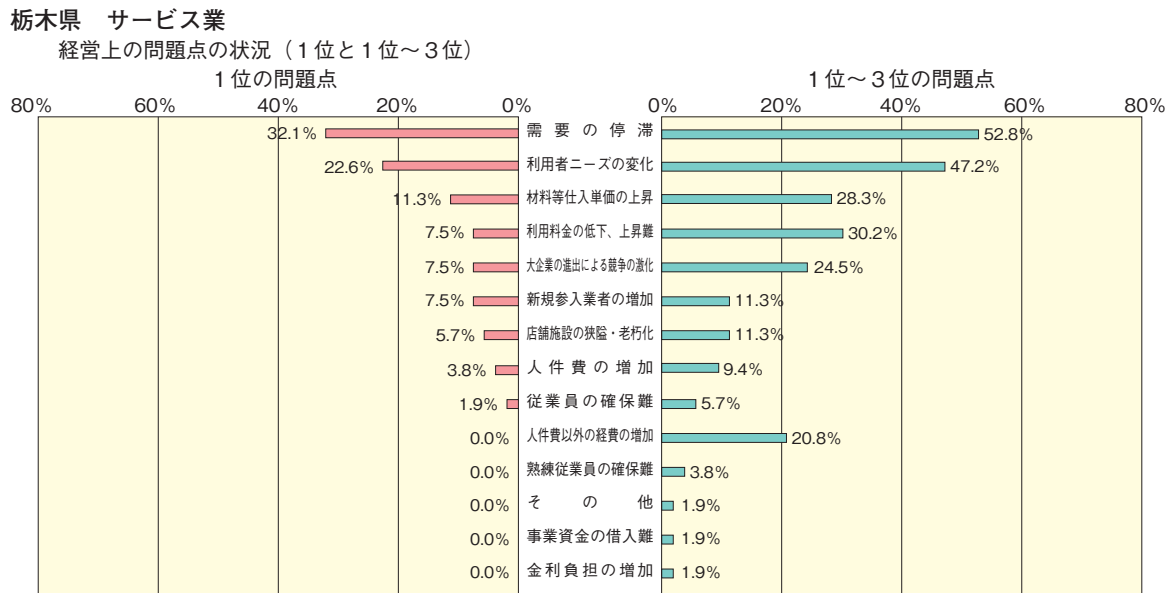
今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合10.5%に対し、実施割合は14.0%と計画を上回った。

来期に設備投資を計画している企業は8.8%である。



－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図22



1位の問題点、及び1位～3位の問題点いずれも、「需要の停滞」がトップに挙げられ、また、「利用者ニーズの変化」も2番目に大きな問題として挙げられている。

6. 調査対象事業所の内容

〈製造業〉

業種別内訳 30事業所

業種	事業所数	割合%
食料品製造業	3	10.0
飲料・資料・たばこ製造業	1	3.3
繊維工業	0	0.0
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
木材・木製品製造業	3	10.0
家具・装備品製造業	0	0.0
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	0	0.0
化学工業	1	3.3
プラスチック製品製造業	1	3.3
窯業・土石製品製造業	3	10.0
金属製品製造業	3	10.0
一般機械器具製造業	4	13.4
電機機械器具製造業	0	0.0
運送用機械器具製造業	6	20.0
精密機械器具製造業	0	0.0
その他の製造業	5	16.7

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	9	30.0
3人以上～5人以下	3	10.0
6人以上～10人以下	5	16.7
11人以上～20人以下	8	26.7
21人以上～50人以下	3	10.0
51人以上～100人以下	1	3.3
100人以上	1	3.3

〈建設業〉

業種別内訳 23事業所

業種	事業所数	割合%
総合工事業	14	60.9
職別工事業	6	26.1
設備工事業	3	13.0

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	10	43.5
3人以上～5人以下	6	26.1
6人以上～10人以下	4	17.4
11人以上～20人以下	3	13.0
21人以上～50人以下	0	0.0
51人以上～100人以下	0	0.0
100人以上	0	0.0

〈小売業〉

業種別内訳 40事業所

業種	事業所数	割合%
各種商品小売業	1	2.5
織物・衣服・身の回り品小売業	2	5.0
飲食物品小売業	22	55.0
自動車・自転車小売業	1	2.5
家具・建具・じゅう器小売業	4	10.0
その他小売業	10	25.0

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	29	72.5
3人以上～5人以下	8	20.0
6人以上～10人以下	24	5.0
11人以上～21人以下	0	0.0
21人以上	1	2.5

〈サービス業〉

業種別内訳 57事業所

業種	事業所数	割合%
一般飲食業（一般・遊興）	18	31.6
宿泊業	2	3.5
運輸業	2	3.5
自動車整備業	10	17.5
洗濯・理美容業	15	26.4
その他サービス業	10	17.5

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	36	63.2
3人以上～5人以下	13	22.8
6人以上～10人以下	7	12.3
11人以上～21人以下	0	0.0
21人以上	1	1.7

第 1 2 9 回 中 小 企 業 景 況 調 査 報 告 書

平成 2 3 年 7 月 ~ 9 月 期 報 告

平成 2 3 年 1 0 月 ~ 1 2 月 期 予 想

平成 2 3 年 1 1 月 発 行

編 集 : 栃 木 県 商 工 会 連 合 会 顔 晴 る 企 業 応 援 課

発 行 所 : 栃 木 県 商 工 会 連 合 会 栃 木 県 宇 都 宮 市 中 央 3 丁 目 1 番 4 号

TEL 028-637-3731 FAX 028-637-2875

印 刷 所 : (株) 松 井 ビ ・ テ ・ オ ・ 印 刷
